

平成30年毒物劇物取扱者試験問題
法規(選択式問題)

- 1 次の文章は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。()に当てはまる正しい字句を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 1 から 5 の解答欄にマークしなさい。

第三条の三 興奮、(問題1)又は麻酔の作用を有する毒物又は劇物(これらを含む)であつて政令で定めるものは、(問題2)に摂取し、若しくは(問題3)し、又はこれらの目的で(問題4)してはならない。

第三条の四 引火性、発火性又は(問題5)のある毒物又は劇物であつて政令で定めるものは、業務その他正当な理由による場合を除いては、(問題4)してはならない。

【下欄】

(問題1)	1 幻覚	2 酩酊	3 鎮静	4 陶酔
(問題2)	1 積極的	2 みだり	3 強制的	4 むやみ
(問題3)	1 吸入	2 塗布	3 使用	4 散布
(問題4)	1 所持	2 販売	3 譲渡	4 贈与
(問題5)	1 揮発性	2 腐食性	3 爆発性	4 刺激性

2 次の文章は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。()に当てはまる正しい字句を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号6から10の解答欄にマークしなさい。

第八条 次の各号に掲げる者でなければ、前条の毒物劇物取扱責任者となることができない。

一 (問題6)

二 厚生労働省令で定める学校で、(問題7)に関する学課を修了した者

三 略

2 次に掲げる者は、前条の毒物劇物取扱責任者となることができない。

一 (問題8)未満の者

二 略

三 麻薬、(問題9)、あへん又は覚せい剤の中毒者

四 毒物若しくは劇物又は薬事に関する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられ、その執行を終り、又は執行を受けることがなくなった日から起算して(問題10)を経過していない者

【下欄】

(問題6)	1 医師	2 歯科医師	3 薬剤師	4 臨床検査技師
(問題7)	1 物理学	2 化学	3 応用物理学	4 応用化学
(問題8)	1 15歳	2 17歳	3 18歳	4 20歳
(問題9)	1 シンナー	2 大麻	3 危険ドラッグ	4 MDMA
(問題10)	1 1年	2 2年	3 3年	4 5年

3 次の物質について、毒物(特定毒物を除く。)であるものは[1]を、劇物であるものには[2]を、特定毒物であるものは[3]を、いずれにも該当しないものは[4]を、法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号11から15の解答欄にマークしなさい。ただし、記載してある物質は全て原体である。

(問題11) 硫化^{りん}燐

(問題12) 硫酸ナトリウム

(問題13) 水酸化ナトリウム

(問題14) 硫酸

(問題15) 四アルキル鉛

4 次の文章で正しいものには[1]を、誤っているものには[2]を、法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 16 から 25 の解答欄にマークしなさい。

- (問題 16) 毒物及び劇物取締法は、毒物及び劇物について、保健衛生上の見地から必要な取締を行うことを目的とする。
- (問題 17) 毒物又は劇物の販売業の登録を受けようとする者は、店舗ごとに、その店舗の所在地の都道府県知事、保健所を設置する市の市長又は特別区の区長に申請書を提出しなければならない。
- (問題 18) 製造業又は輸入業の登録は、4年ごとに、販売業の登録は、6年ごとに、更新を受けなければ、その効力を失う。
- (問題 19) 一般販売業の登録を受けた者は、農業上必要な毒物又は毒物であって厚生労働省令で定めるもの以外の毒物又は劇物の販売等を行ってはならない。
- (問題 20) 毒物劇物営業者が個人経営から法人経営になる場合は、その旨を届け出なければならない。
- (問題 21) 毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を直接に取扱わない場合は、店舗ごとに毒物劇物取扱責任者を置く必要はない。
- (問題 22) 毒物劇物営業者は、他の毒物劇物営業者へ毒物又は劇物を販売し、又は授与したときは、その都度、所定事項を書面に記載し、販売又は授与の日から5年間保存しなければならない。
- (問題 23) 親からの委任状を持参した 17 歳の高校生に劇物を交付した。
- (問題 24) 毒物劇物営業者は、その取扱いに係る毒物又は劇物が盗難にあい、又は紛失したときは、3日以内に、その旨を警察署に届け出なければならない。
- (問題 25) 毒物劇物営業者は、その営業の登録が効力を失ったときには、30 日以内に、その店舗の所在地の都道府県知事に、現に所有する特定毒物の品名及び数量を届け出なければならない。

平成30年毒物劇物取扱者試験問題
法 規(記述式問題)

1 次の文章は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。正しい語句を法規・基礎化学試験用紙の記述問題1から10の解答欄に記入しなさい。

第十一条

- 1 毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、毒物又は劇物が(問題1)にあり、又は(問題2)することを防ぐのに必要な措置を講じなければならない。
- 2 毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、毒物若しくは劇物又は毒物若しくは劇物を(問題3)する物であつて政令で定めるものがその製造所、(問題4)若しくは店舗又は研究所の外に(問題5)し、漏れ、流れ出、若しくはしみ出、又はこれらの施設の地下にしみ込むことを防ぐのに必要な措置を講じなければならない。

第十二条 毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、毒物又は劇物の容器及び被包に、「(問題6)」の文字及び毒物については(問題7)をもつて「毒物」の文字、劇物については(問題8)をもつて「劇物」の文字を表示しなければならない。

- 2 毒物劇物営業者は、その容器及び被包に、左に掲げる事項を表示しなければ、毒物又は劇物を販売し、又は授与してはならない。
 - 一 毒物又は劇物の(問題9)
 - 二 毒物又は劇物の成分及びその含量
 - 三 厚生労働省令で定める毒物又は劇物については、それぞれ厚生労働省令で定めるその(問題10)の(問題9)
 - 四 毒物又は劇物の取扱及び使用上特に必要と認めて、厚生労働省令で定める事項

平成30年毒物劇物取扱者試験問題
基礎化学(選択式問題)

1 次の()内に当てはまる最も適当な語句を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 26 から 30の解答欄にマークしなさい。

原子は原子核と原子核の外側に存在する(問題 26)で構成される。原子核を構成する基本的な粒子は(問題 27)と(問題 28)であり、これらをあわせて核子という。同じ原子番号を持つ原子において、原子核中の(問題 27)の数は等しいが、(問題 28)の数が異なっている原子を互いに(問題 29)であるという。(問題 27)の数と(問題 28)の数の和を(問題 30)という。

【下欄】

1 陽子	2 電子	3 分子	4 中性子
5 中性粒子	6 同位体	7 同素体	8 粒子
9 原子数	0 質量数		

2 次の()内に当てはまる最も適当な語句を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 31 から 35の解答欄にマークしなさい。

周期表の2族元素のうち、Ca、Sr、(問題 31)、Raの4種類の元素を(問題 32)という。(問題 32)はいずれも価電子数は(問題 33)個であり、単体や化合物は特有の炎色反応を示すことが知られている。炎色反応により、Caは(問題 34)、Srは(問題 35)を呈する。

【下欄】

(問題 31)	1 B	2 Ba	3 Br
(問題 32)	1 アルカリ金属	2 アルカリ土類金属	3 ハロゲン
(問題 33)	1 1	2 2	3 3
(問題 34)	1 紫色	2 黄緑色	3 橙色
(問題 35)	1 緑青色	2 紅色	3 黄色

3 次の記述について、正しいものは[1]を、誤っているものは[2]を、法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 36 から 45 の解答欄にマークしなさい。

- (問題 36) 物質のうち、空気のように2種類以上の物質が混じり合ったものを混合物という。
- (問題 37) 物質のうち、メタンのように、ただ一種の元素から出来ているものを単体という。
- (問題 38) 酸素とオゾンのように、同じ元素からなる単体で、性質の異なる物質を同素体という。
- (問題 39) 固体が大気中にさらされているとき、大気中の水蒸気を捕まえてその水に溶ける現象を潮解という。
- (問題 40) 物質は、温度と圧力に応じて固体・液体・気体のいずれかの状態をとる。これら3つの状態を物質の三態といい、固体から直接気体に変化することを気化という。
- (問題 41) 純粋な水と塩化ナトリウム水溶液を比較すると、純粋な水の方が沸点が高い。
- (問題 42) 強酸と弱塩基からなる正塩の水溶液は塩基性である。
- (問題 43) 酢酸と水酸化ナトリウムで滴定する際には指示薬としてメチルオレンジを用いる。
- (問題 44) 圧力が一定ならば、一定量の気体の体積は、絶対温度に反比例して変化する法則をボイルの法則という。
- (問題 45) ベンゼン環をもつ化合物は芳香をもつものが多いので、芳香族化合物という。

4 次の官能基の名称を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 46 から 50 の解答欄にマークしなさい。

- (問題 46) $-\text{CHO}$ (問題 47) $-\text{COOH}$ (問題 48) $-\text{NO}_2$
(問題 49) $-\text{CH}_3$ (問題 50) $-\text{SO}_3\text{H}$

【下欄】

1	ケトン基	2	ヒドロキシ基	3	メチル基	4	フェニル基
5	アルデヒド基	6	シアノ基	7	カルボキシル基	8	ニトロ基
9	アミノ基	0	スルホ基				

平成30年毒物劇物取扱者試験問題
基礎化学(記述式問題)

1 次の問題について、()内にあてはまる数値を、法規・基礎化学試験用紙の記述問題番号 11 から 15 の解答欄に記入しなさい。

- (1) 2mol/Lの硫酸10を中和するには、(問題11)mol/Lの水酸化ナトリウム水溶液10が必要である。
- (2) 有効塩素6%の次亜塩素酸ナトリウム溶液を2,000倍に希釈した水溶液には、有効塩素が(問題12)%含まれる。
- (3) 水210gに塩化ナトリウムを(問題13)g溶かすと、濃度が12.5%の塩化ナトリウム水溶液となる。
- (4) メタン8gを必要な量の酸素と反応させたとき、生じる二酸化炭素の質量は(問題14)gで、水の質量は(問題15)gである。ただし、原子量は、水素を1、炭素を12、酸素を16とする。